


事務事業名		森林整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	0:8: 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目			
	施策名	3:5: 健全な財政運営の推進				会計	款	項	目
	基本事業名	0:3: 公有財産の適正な管理		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		01	06	02	04
根拠法令									
所属	部課名	農林水産部農林課							
	係名	林業係	電話 27-3111 内線 7127						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画( 期間限定複数年度のみ)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国県補助事業を利用して、市有林を整備する事業。</li> <li>・主な業務</li> <li>①森林整備地の選定、②見積もり依頼、③事業の実施、④完了検査、支払、⑤県への補助金申請、受領。</li> <li>・事業費は委託費として支出される。</li> <li>・委託業務</li> <li>①植際の準備、②植栽、③下刈、④緩衝施設の設置(シカ防護網)、⑤ナラ林等の特定間伐、⑥スギ林の間伐</li> </ul>						総 投 入 量 (千 円)	事業費	国庫支出金	
							財源内訳	都道府県支出金	
						人 件 費	地方債		
							その他		
							一般財源		
							事業費計(A)	0	
							正規職員従事人数		
							延べ業務時間		
							人件費計(B)	0	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
森林整備、(造林、下刈、除間伐、天然林改良、緩衝施設設置)		ア	整備面積
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市有林		名称	
		単位	
		カ	市有林整備計画面積
		キ	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市有林が整備され、健全な樹木が育成する。		名称	
		単位	
		サ	整備率 (整備面積/市有林整備計画面積)
		シ	%
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
生産された木材の販売価格の向上が期待され、公有財産が適正・有効に活用される。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度						
			17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	16,447	16,790	24,480	19,864	24,480	24,480
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	8,099	11,078	11,577	10,948	11,577	11,577
		事業費計(A)	千円	24,546	27,868	36,057	30,812	36,057	36,057
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		人件費計(B)	千円	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
		トータルコスト(A)+(B)	千円	30,546	33,868	42,057	36,812	42,057	42,057
活動指標		ア	ha	77.00	96.08	100.00	128.22	100.00	100.00
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	ha	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	%	77.0	96.1	100.0	128.2	100.0	100.0	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0573	事務事業名	森林整備事業
--------	------	-------	--------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 木材価格の低迷により森林整備に遅れを来たし、森林の荒廃化が懸念されることから、国がこの制度を創設したことを受けて、事業に取り組むこととした。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 森林の持つ多面的機能が知られるようになり、身近にある里山の整備が市民から求められている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ この事業に意見要望が寄せられたことはないが、森林の持つ公益的多面的機能の発揮が地球規模で求められている。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 森林の適正な管理がなされれば、良質材の生産につながり、採算性の向上による林業の振興、ひいては、森林の持つ多面的機能の高度発揮が期待できる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	<b>公共関与の妥当性</b>  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 森林の持つ多面的機能は、市民生活全体につながる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	<b>対象・意図の妥当性</b>  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 森林の多面的機能を維持するため縮小の余地はない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 継続的に事業を実施することが成果の維持につながる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 森林が荒廃し、森林の公益的多面的機能及び市有林の財産価値が低下する。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 本事業のみである。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 事業費の削減はできない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 市内全域の実施状況を調査しているため。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 市内全域の実施状況を調査しているため。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	0573	事務事業名	森林整備事業
--------	------	-------	--------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 今後も事業を継続して実施する。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持      事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 森林の機能は、事業の継続により、成果が現れる。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 補助対象の9齢級を越える森林については、再造林を検討する必要がある。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長	
-------	------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい  <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)  <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 左記①～④とも適切であり、見直し余地等はない。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持      事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり、継続して事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------